

キーワード

学習意欲の向上

標 題

I C T を効果的に活用した、授業づくり

①学校の概要（平成25年7月1日現在）

・児童生徒数195名 ・学級数11学級 ・教職員数28名

②取組を始めた経緯

校内の全教室に教材提示装置が配備されるようになったことから、授業の中で有効に活用する方法を考えるようになった。

③取組の実施体制

校内研究のテーマの中に、I C T の活用も取り入れ、よりよい活用の仕方について、職員全体で研修を深めてきた。

④学力向上に向けた具体的な取組

- 普段の授業の中で、I C T を積極的に活用するように声をかけた。
 - ・校内研修の場で、交流する。
- 研究授業の中に、必ずI C T を活用する場面を取り入れることとした。
 - ・反省会の中で、I C T の活用について振り返る。
(どんな場面で、誰が、何を、どのように、どんな効果があったか)
 - ・研究通信等で、全体に知らせる。
- 全体でI C T 研修会を行った。
 - ・外部から講師を招いての研修。
 - ・自分たちで使い方の交流。

⑤取組の成果と課題

○成果

- ・ I C Tを授業の中で効果的に活用することで、児童の授業への集中力が増した。
- ・ 拡大コピー等の手間が省け、教師が子どもと向き合う時間の確保につながった。
- ・ 児童が自分の考え等を説明するためのツールとして、当たり前のように活用できるようになり、言語活動の活性化につながった。

○課題

- ・ 視覚支援にはなるが、指示を聞く力は弱くなってしまいう可能性も考えられる。

⑥取組の継続・発展の要因

○教材提示装置は、使い方が単純である。

- ・ 自分の手元で、アナログ的な操作のみで使えるので、活用へのハードルが低い。

○校内研の柱の一つとして位置づけたことで、共通の話題が持てる。

- ・ ちょっとした隙間時間にも、使い方の交流等ができる。

⑦管理職・中核教員等のアクション

○管理職

教材提示装置購入や講師に関わる手続き等を行う。

○中核教員等

I C Tを率先して活用しながら、経験の浅い教員や若手教員に対してアドバイス等を行う。

⑧資料・写真等

